

第1回 (仮称)新小岩 エリアプラットフォーム会議【設立会】

決定事項

1. 当会議の規約(案)の内容確認……………p. 1~2
会員登録方法の確認

① 2. メンバー紹介、設立時メンバー相互承認による決定……………p. 3~4

3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは……………p. 5~13

4. 未来ビジョン骨子案 (コアメンバー会議案) について…p. 14~24

② 5. 当会議の名称・規約の決定……………p. 25

6. 今後のスケジュール……………p. 26~27

令和6年8月30日

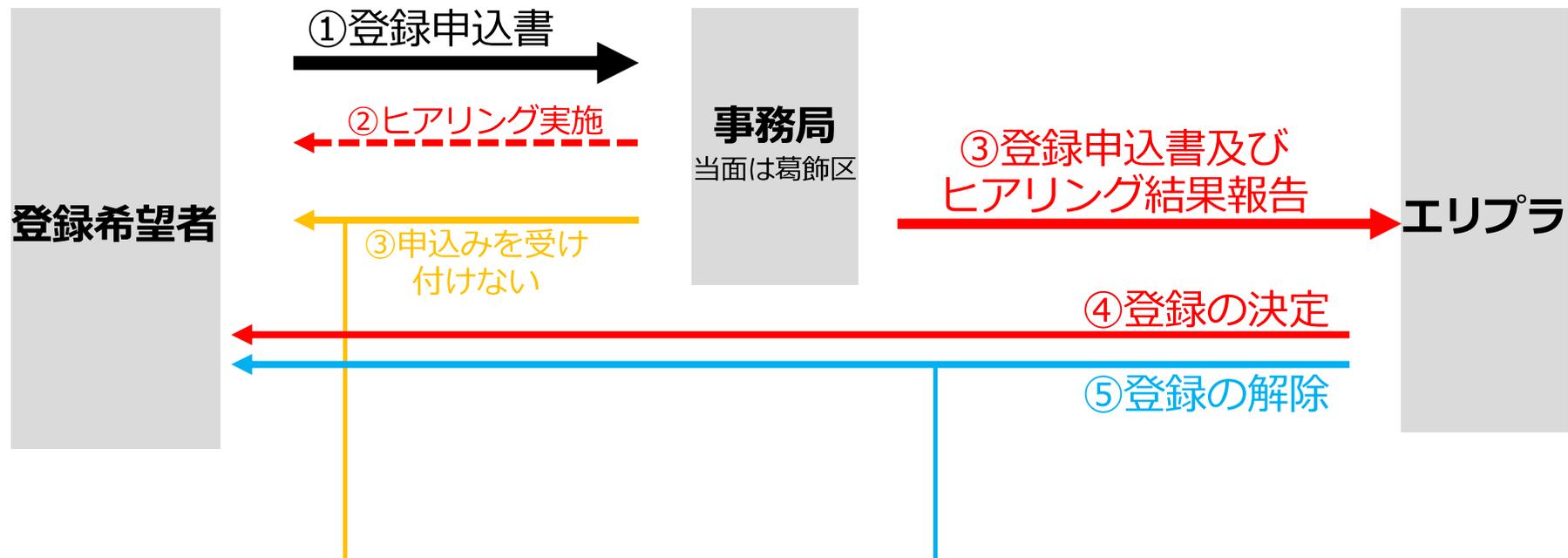
葛飾区

1. 当会議の規約(案)の内容確認

新小岩のまちづくりに賛同いただける方を会員とします

■ 会員登録の手順

エリプラの出席者のうち2/3以上を以て登録について決定いただきます。
本日は、ご出席の皆様相互承認を以て登録を決定いたします。



登録申込みを受け付けない場合 (第8条第3項) / 登録を解除する場合 (第9条第3項第2号)

- (1) 登録申込みの登録事項に、虚偽記載、誤記または記入洩れがあるとき
- (2) 暴力団、暴力団員、暴力団関係者、暴力団関係企業、暴力団関係団体、総会屋、社会運動標榜団体、その他暴力、威力、詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団若しくは個人又はこれらに準じる者であるとき
- (3) 「葛飾区都市計画マスタープラン」や新小岩南・北地域まちづくり協議会が区と協働して策定した「新小岩駅周辺地区街づくり基本計画」及びこれら方針を踏まえた「新小岩まちづくりプラン」が策定されているため、その趣旨に合った議論が困難であると認められるとき
- (4) エリプラへの登録が目的や活動と一致しないと認められるとき
- (5) その他、会員の登録が不相当と認められるとき

2. メンバー紹介、設立時メンバー相互承認による決定

- 以下の登録手続きをいただいたリストの方々にて相互承認を行い、設立時会員といたします。

※設立時会員名簿を掲載しておりますが、
個人情報等の関係により削除しております。

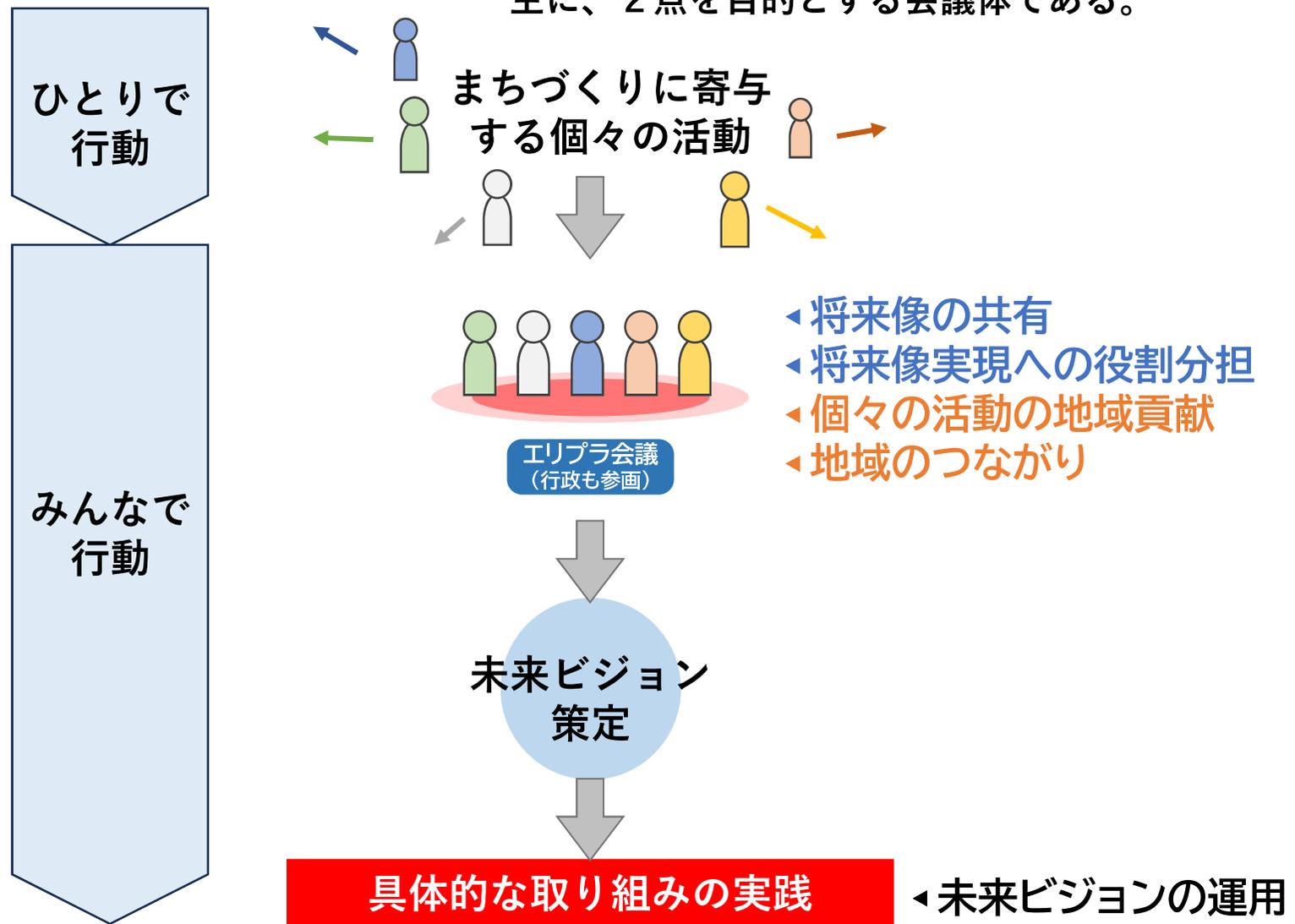
2. メンバー紹介、設立時メンバー相互承認による決定

※設立時会員名簿を掲載しておりますが、
個人情報等の関係により削除しております。

3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■エリアプラットフォームとは

- ①新小岩で活動する人たちが共通の将来像を描く。
- ②将来像をもとに皆の活動・情報を共有し、連携する。
主に、2点を目的とする会議体である。



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

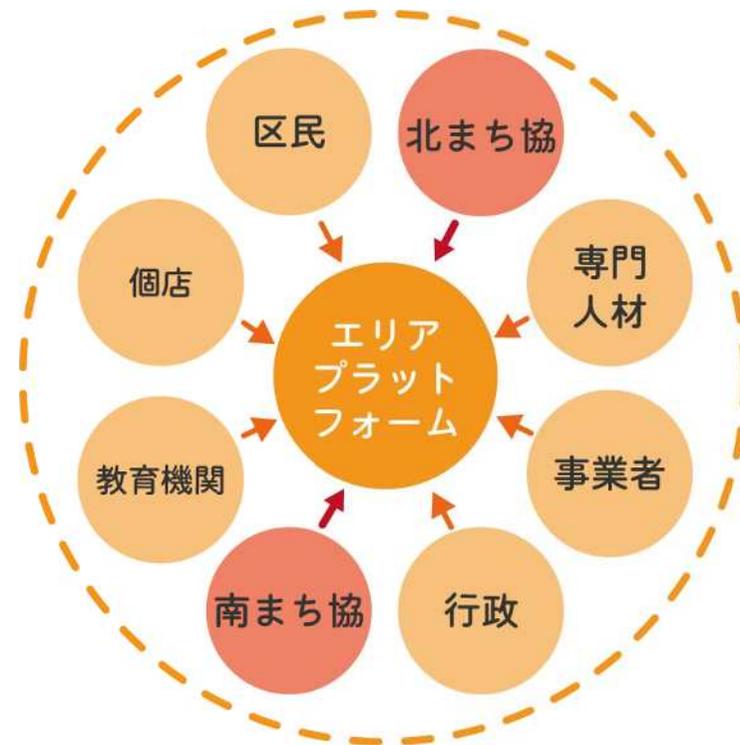
■エリアプラットフォーム対象エリア



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■エリアプラットフォーム組織の進行と運営

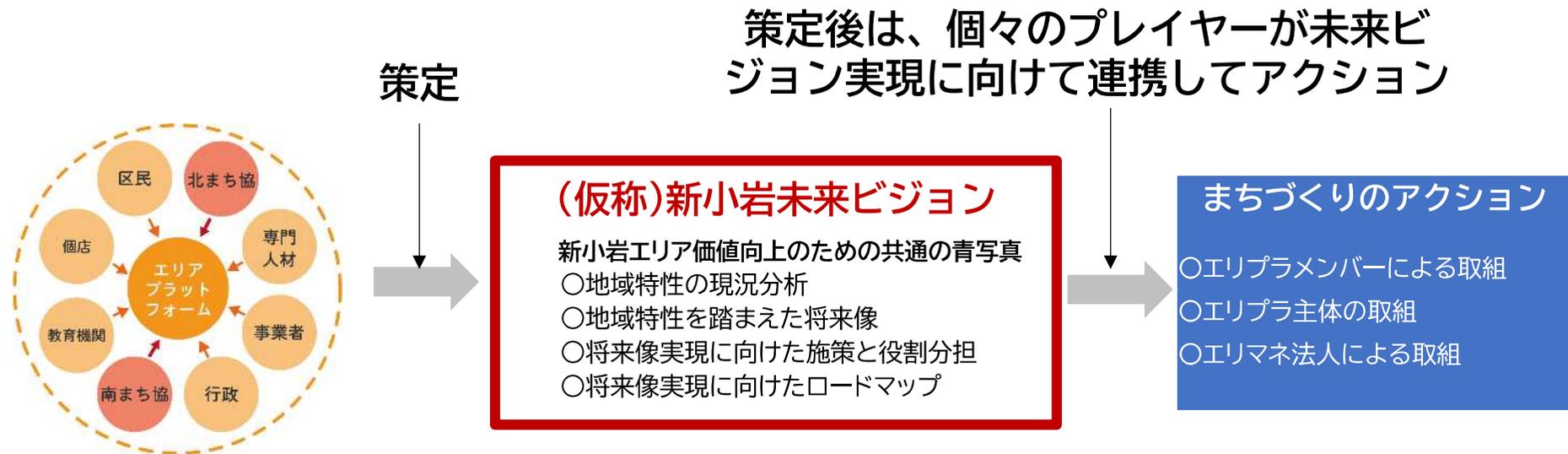
新小岩におけるエリアプラットフォームでは「会長」などの役職は設けません。当面、事務局が会議の進行と運営を担い、参加者全員が平等に意見を出し合えるよう、フラットな会議体とします。



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■未来ビジョンとは

新小岩エリアの将来像を描き、その将来像を実現するための**具体的取組**や**実施主体**、**ロードマップ**を定めるものです。



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■ 会議構成

拡大版エリアプラットフォーム会議 1 2 3
 ■ 自由に参加できる場 (会員登録不要)

エリアプラットフォーム会議 1 2
 ■ 未来ビジョンの策定主体
 ■ 会員登録制
 ■ 未来ビジョンにおける役割を担う

コアメンバー会議 1
 ■ エリプラ会員の中から選出

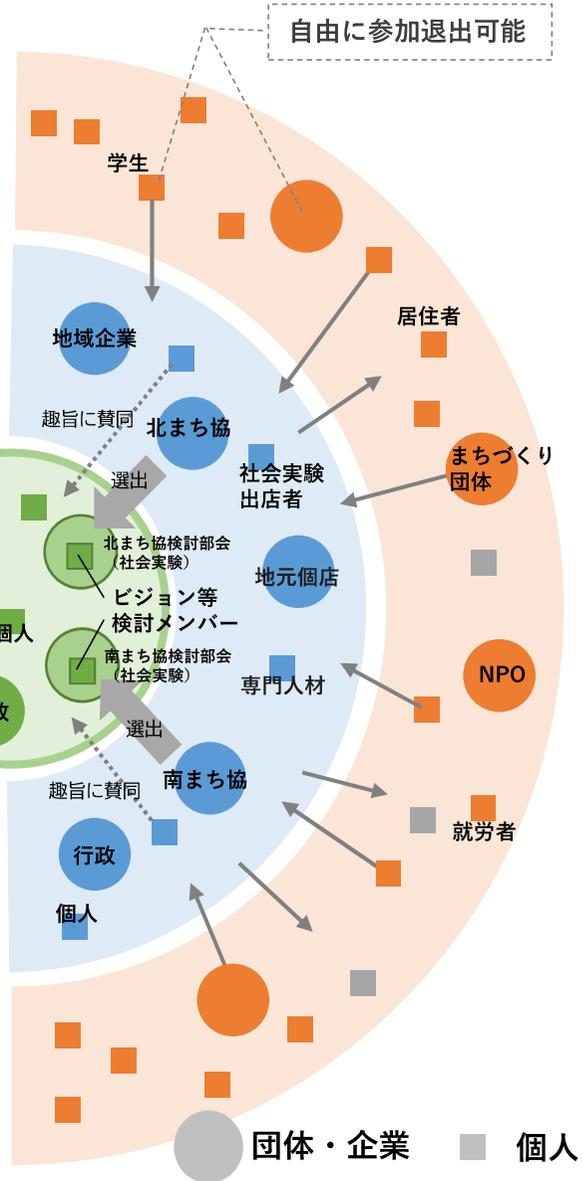
3 ユーザー・ファン
 ・未来ビジョンや活動をユーザー（住民や勤労者、学生）・ファン（新小岩に関心のある人）へ発信し意見を聞く

2 地域関係者
 ・未来ビジョンをもとに情報や課題を共有し連携して、ビジョンの実現に向け取り組む

1 コアメンバー
 ・未来ビジョンの細部の作りこみ
 ・法人運営の検討
 ・社会実験の企画検討

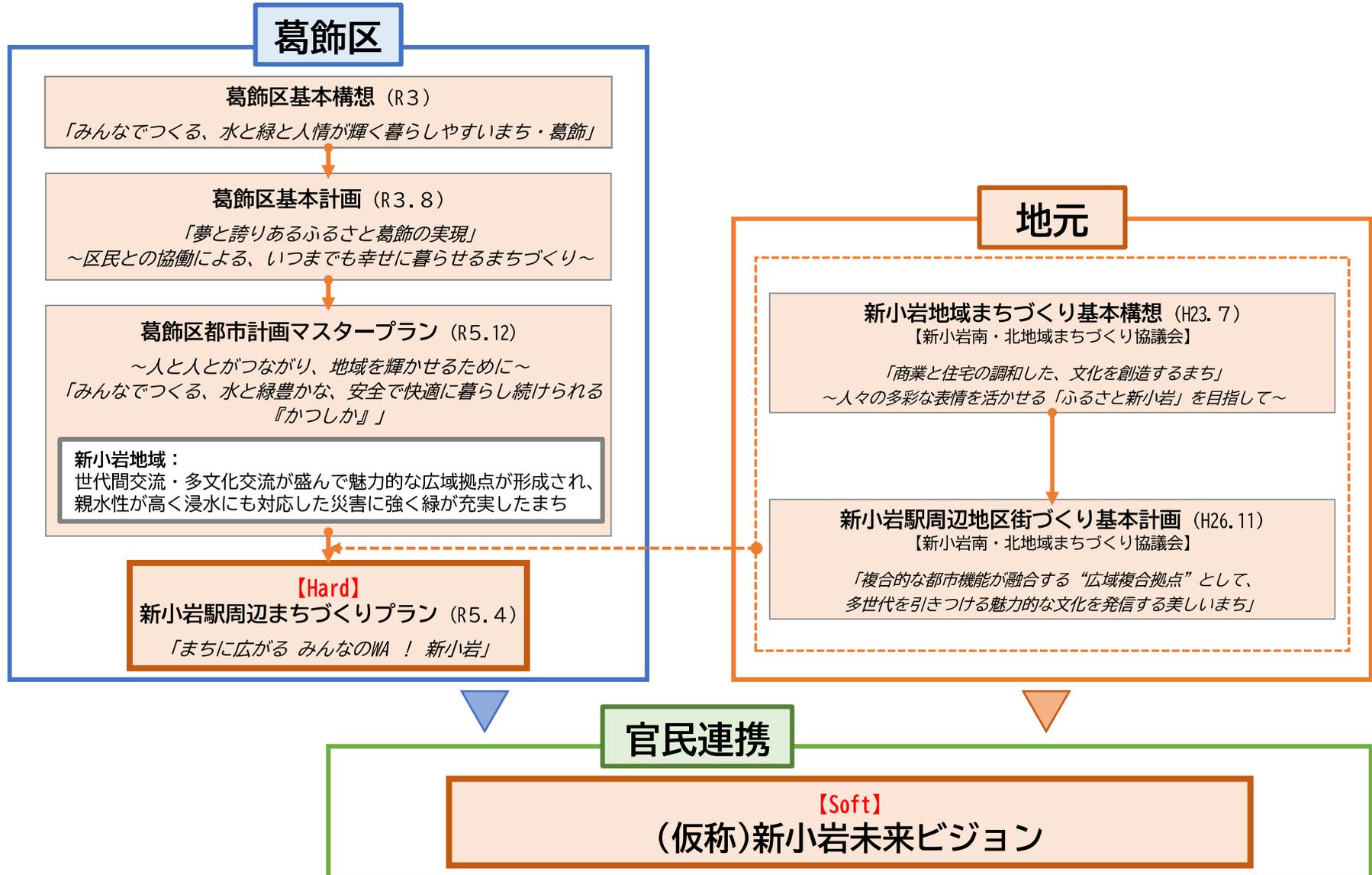
(仮称)新小岩未来ビジョン
 新小岩エリア価値向上のための共通の青写真
 ○地域特性の現況分析
 ○地域特性を踏まえた将来像
 ○将来像実現に向けた施策と役割分担
 ○将来像実現に向けたロードマップ

(仮称)新小岩未来ビジョン実現に向けた実際のアクションを各々実施
 ○エリプラメンバーによる取組
 ○エリプラ主体の取組
 ○エリマネ法人による取組



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■未来ビジョンとその他の計画の関係性



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■未来ビジョンの作り方の事例紹介（ナカメ未来ビジョン）

参考資料ナカメ未来ビジョン
(P1、37、38参照)

2 ナカメの魅力

- ナカメには多様な地域資源があり、その魅力が多くの人々を惹きつけ、ナカメらしい落ち着きや心地よい賑わい、クリエイティブな感性を刺激する雰囲気や環境を生み出しています。
- このナカメの「日常」こそ、まちの魅力の根幹であると考えられ、それがブランド力となり、広域圏からも人を呼び込むことに繋がっていると考えられます。
- これらを踏まえて、将来に向けたまちづくりを進めることが求められています。



3 まちづくりの方向性

- ナカメの魅力を踏まえて、ナカメに住む人・日常的にナカメに関わっている人にとって魅力的なまちを目指すことを前提に、重点ターゲットとしてナカメ独自の資源を活かし多様な文化を発展させるとともに、様々な人がつながり、交流・創造するまちづくりの方向性として、以下、5つの目標を掲げます。
- このうち、ナカメのまちなかを歩いて巡りたくるようにエリア内外の魅力をつなぐ「ウォーカブルネットワーク」と、ひとやまちの魅力に出会える拠点をつくる「まちなか拠点」を、「重点目標」として位置付けます。



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■未来ビジョンの作り方の事例紹介（池袋未来ビジョン）

参考資料 池袋未来ビジョン
(P10、16～20参照)



3. エリアプラットフォーム・未来ビジョンとは

■未来ビジョンの作り方の事例紹介（朝霞市エリアビジョン）

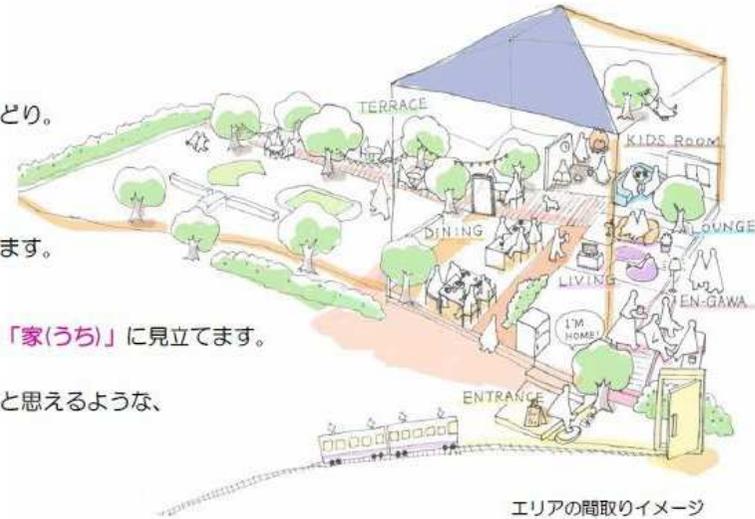
【エリアビジョンのコンセプト】

“マイホーム” あさか” ～みんなが帰りたいくなるまち～

駅前から商店街の賑わいを抜け、まちなかに進んでいくと、その先に広がる武蔵野のみどり。住宅街と商店街、シンボルとなるみどりが程良く肩を並べているまち、朝霞。そんな朝霞のまちで、住んでいる人も訪れる人も、誰もが『居心地が良く、歩きたくなるまち』、『人でにぎわう魅力的な商業エリア』の創出を目指して、朝霞だからこそ実現できる朝霞ならではの未来（＝未来ビジョン）を皆さんと共に描きます。

『まち=家』

みんながそれぞれのお気に入りの場所を見つけられるように、朝霞のまちをひとつの「家(うち)」に見立てます。家は玄関や居間、応接間など様々な役割と機能を持った空間で出来ています。それぞれの空間の特性に合わせた「まちの間取り」を決め、まちなかが自分の「家」と思えるような、まるで自分の「家」にいるような感覚になる。そんな居心地の良い「おうちのようなまち」をつくります。



【エリアビジョンのキーワード】

優しい気持ちが溢れるまちづくりが未来永く続いていくように。朝霞市の名称である「あさか」から、エリアビジョンのコンセプトのイメージとして3つのキーワードを抽出しました。

あさか → ASAKA → A S A K A



四季折々の花と緑の景色。太陽の光や頬をなでる風。武蔵野の豊かな自然環境がまちなかに溢れ、心地よい自然の揺らぎが日々の暮らしを潤してくれる未来を描きます。



過去から今。今から未来へ。活気に満ちた人々の営みが、まちに愛着と誇りを生み、地域・まち・未来を形作っていきます。



思いやりを育むまちでありたい。武蔵野の多様な自然に恵まれた朝霞だからこそ、多様な価値観を受け止め、温かな優しさに包まれて、のびのびと交流できる未来を描きます。

4. 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

続くページで

■未来ビジョンの骨子・案について

コアメンバー会議で議論した内容

をご紹介します。

■本日の会議では、時間も限られますので、内容そのものよりも

未来ビジョンの全体像イメージを掴んでいただくこと

が大きな目標です。

■内容については、今後、

3回（予定）にわたるエリアプラットフォーム会議

にて詳細をご議論いただき

令和7年3月～4月頃の策定

を目指します。

4. 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

未来ビジョンの内容について

- 地域の特性の現状分析
- 地域の特性を踏まえた将来像
- 将来像実現に向けた施策と役割分担
- 将来像実現にむけたロードマップ

Step0

●現状分析

㊟シーズ（まちの資源）

- 空間:南口・北口駅前広場、東北広場、スカイデッキたつみ、公共施設、屋外公共空間 など
- 名物:モンチッチ(公園)、個性ある商店街や個店 など
- 活動・イベント:駅前広場を活用した各種イベント、民間での地域貢献活動 など

㊞ニーズ（特徴）

- 人や物の特徴
 - ・多文化、多国籍
 - ・一人世帯の高齢者
 - ・子どもファミリー層
 - ・新小岩の個店
- 生活の質に関わる特徴
 - ・安全安心
 - ・防犯
 - ・健康・福祉
 - ・暮らしやすさ など

○まちづくりの動向

- ・公共空間の整備
- ・南口再開発

+

○社会実験

- ・マンパワーの不足の解消
- ・情報発信の強化
- ・まちのイメージ向上

+

○ヒアリング

- ・若手を巻き込んだ運営体制
- ・駅から離れたエリアにおける賑わいづくり
- ・人やまちとの交流機会の減少

+

○未来ビジョンで取り組むべきテーマ

- ・公共空間活用
- ・活動費財源の確保
- ・治安・防災
- ・交流・子ども施策
- ・新規住民とのコミュニティ形成や人手不足解消

Step1 What

●課題の整理

- ㊦多様な人と交流する機会が減っている
- ㊧治安・マナーの地域イメージの低下や歩行空間の快適性が確保されていない
- ㊨活動者の固定化・高齢化による担い手不足で活動の持続可能性が低下している

●目指す姿の検討と施策

- ①『多様性を認めあい、変化を受け入れ、まち中がつながる』
- ②『誰もが居心地よく、長く過ごせる』
- ③『地域のつながりとともに成長し続ける』

Project.1~3	Project.4~6	Project.7~9	Project.10~12	Project.13~15
Warmth 共助の輪ができてこそ、人の温かさを感じる	Wellness まちも人も心地良く年輪を重ねる	Walkable まちをまるごと歩く人中心でつくり方を考える	Wonderful 目を丸くして、驚き・感動できる暮らしがある	Way 人と人、モノやコトのつながりの輪をつくる

各将来像を実現するための行動指針
『まちのWaつくろう！新小岩』
 ~多様なヒトがつながり、賑わいがつながるまちへ~

Step2 Who (関連主体含む)

●役割分担(案)

例) まち協・商店会・町会・個店	例) エリマネ法人・都市再生推進法人	例) 商店会・個店・町会・法人	例) エリマネ法人・町会	例) 商店会・エリマネ法人
------------------	--------------------	-----------------	--------------	---------------

Step3 How・Where

●ロードマップ(案)

例) 商店街と連携した定期的な賑わいイベントの開催など	例) 都市農園の体験機会の創出、健康講座・栄養講座の開催 など	例) 望ましいサードプレイスの在り方検討 など	例) まちのイメージアップにつながる空間活用のルールづくり など	例) 地域情報の収集・発信、連携体制構築 など
-----------------------------	---------------------------------	-------------------------	----------------------------------	-------------------------

4. [内容説明] 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■現状分析

＞データ分析
シーズ
(まちの資源)

■空間

- ・ 南口・北口駅前広場
- ・ 東北広場
- ・ スカイデッキたつみ
- ・ にこわ新小岩・えきにこわなど公共施設
- ・ 公園や荒川沿い土手など屋外公共空間
- ・ 駐輪場、鉄道駅

■名物

- ・ モンチッチ(公園)
- ・ 個性ある商店街や個店

■活動・イベント

- ・ 駅前広場を活用した各種イベント
- ・ 民間での地域貢献活動
- ・ 町工場の技術

など

■発展性

：街全体の利便性において、将来的な「街としての価値の向上」が見込める点を評価

4.35 点/5.0点

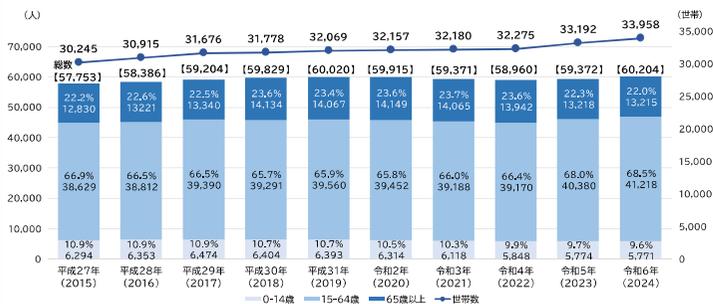
※ARUHI presents 本当に住みやすい街大賞2023

■待機児童

(R6年) 0 人

■人口動向

人口・世帯数
生産年齢人口 **増加**



※住民基本台帳（各年4月1日）

■治安

H21年 1143件 → R5年 583件

※区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数

■まちの楽しみ方

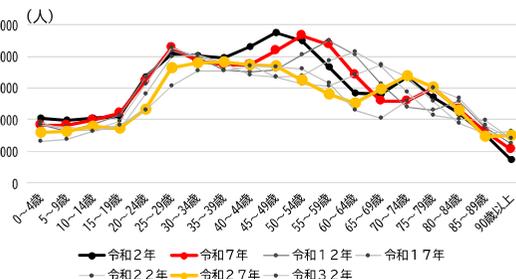
▶ R5 社会実験（南北駅前・東北広場）

- ・ 延べ12,520人が来場
- ・ 地元から60 団体参加（6か月で10回開催）

未来ビジョン策定から20年後も

30~44 歳の人口に変化がない

⇒子育て世代に定住してもらう取組が必要



※R2国勢調査 コーホート要因法

ニーズ (特徴)

※ヒアリング等から把握

■人や物の特徴

- ・ 多文化、多国籍
- ・ 一人世帯の高齢者
- ・ 子どもファミリー層
- ・ 新小岩の個店

■生活の質に関わる特徴

- ・ 安全安心
- ・ 防犯
- ・ 健康・福祉
- ・ 暮らしやすさ

まちの資源は充実・まちのポテンシャルは発展的である

4. [内容説明] 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■現状分析

> 主なまちづくり動向


本当に住みやすい街大賞2023
No. 3 (ARUHI発表)

新小岩公園再整備



あらかわ水辺公園整備



新金線の旅客化

2023年度

2024年度

2026年度

2032年度

20XX年

南北自由通路
開通



JR新小岩南口
ビルオープン



私学グラウンド取得
(スタジアム構想)

南口地区再開発
A街区竣工

南口地区再開発
B街区竣工



4. 【内容説明】 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■現状分析

＞ 昨年 of 社会実験と関係者へのヒアリング

社会実験と関係者へのヒアリングの結果、未来ビジョンで取り
組むべき課題の視点を次のように整理しました。

▽社会実験

〈公共空間活用における現状認識〉

- ・マンパワーの不足の解消
- ・情報発信の強化
- ・持続可能な活動費確保
- ・商店街との連携
- ・防犯・治安マナー向上が必要

など

▽関係者ヒアリング

〈活動の現状認識〉

- ・若手を巻き込んだ運営体制
- ・駅から離れたエリアにおける
賑わいづくり
- ・行政・事業者・住民の連携
- ・南北で連携のとれた地域活動
など

〈地域の現状認識〉

- ・（一人世帯）高齢者の健康やつながりに心配がある
- ・多文化・多国籍でありコミュニティ不足
- ・開発による子ども・ファミリー層の増加

4. [内容説明] 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■現状分析

> 他エリアの事例

他エリアでは以下のようなテーマで取り組んでいます。

- ・ 公共空間活用
- ・ 活動費の確保
- ・ 治安・防災
- ・ 交流・子ども施策
- ・ 新規住民とのコミュニティ形成や人手不足解消

4. [内容説明] 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■現状分析

>課題の整理

これまでのデータ分析/まちづくり動向/社会実験や関係者ヒアリング/他エリアの事例からまとめると大きく3つの課題にまとめられる。

- ① 多様な人と交流する機会が減っている
- ② 治安・マナーの地域イメージの低下や歩行空間の快適性が確保されていない
- ③ 活動者の固定化・高齢化による担い手不足で活動の持続可能性が低下している

4. 【内容説明】未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■ 目指す姿の検討

> 課題を踏まえた取り組み方針

Ⓐ 多様な人と交流する機会が減っている

① 『多様性を認めあい、
変化を受け入れ、
まち中がつながる』

モノ・ヒト・コトが多種多様化し、さらにファミリー世帯の流入が見込まれる新小岩。個々の興味関心が合流する場や機会を創出し、横のつながり、縦のつながりを継続させることが大切である。

■ 住民同士の交流の機会づくり
やコミュニティの強化

- 誰もが、思いやり、助けあい、笑いあい、災害の共助にも貢献するコミュニティをつくるため、多種多様な環境を総合的に捉え、つながりの持続性を生み出す。

■ 継続的なまちの価値向上

- 過去から現在、そして未来へと受け継がれていく人のつながりの基盤をつくる。まちづくりの動向を受けながら、地域が自発的に生み出す暮らしやすさを継続・向上させ、まちを育てる。

Ⓑ 治安・マナーの地域イメージの低下や歩行空間の快適性が確保されていない

② 『誰もが居心地よく、
長く過ごせる』

新小岩駅周辺にてハード整備が着実に進む中、心地よい環境を創出し、人々の暮らしを支える必要があり、公共空間を中心にまち全体の多様な使いこなしが望まれる。

■ 歩く人目線の環境づくり

- 歩行者のネットワーク・環境の向上を図り、地域の特性である商店街などと連携し快適で安心・安全な回遊性の高いまちづくりを進める。人々が行き交い、賑わう良好な環境づくりが新小岩のイメージの向上につながる。

■ 憩い・安らぐ場所づくりと
住民同士のつながりづくり

- 広場や公園など公共空間を中心として人々が憩い、安らぎ、集まる空間づくりを行い、人と人をつなげる。

Ⓒ 活動者の固定化・高齢化による担い手不足で活動の持続可能性が低下している

③ 『地域のつながりと
ともに成長し続ける』

街への想いやまちの活動により、自分たち一人一人がまちを育てていることを自覚することで人のつながりや賑わいの持続・発展を図る。まちの成長に向け、情報発信や地域のつながり強化が求められる。

■ 担い手不足の解消と人材発掘

- まち情報の発信や地域間で連携したお祭り・イベントの開催など、まちの魅力や賑わいを向上する活動を通して、地域とのつながりや一体感を創出する。

■ ジブンゴト化の推進

- 新小岩に関わる人が、自らの活動が地域の発展につながる、まちづくりへの想いがまちを育てる、というジブンゴト化に向けた想いを醸成する。

健康

治安・防災

つながり

歩いて楽しい

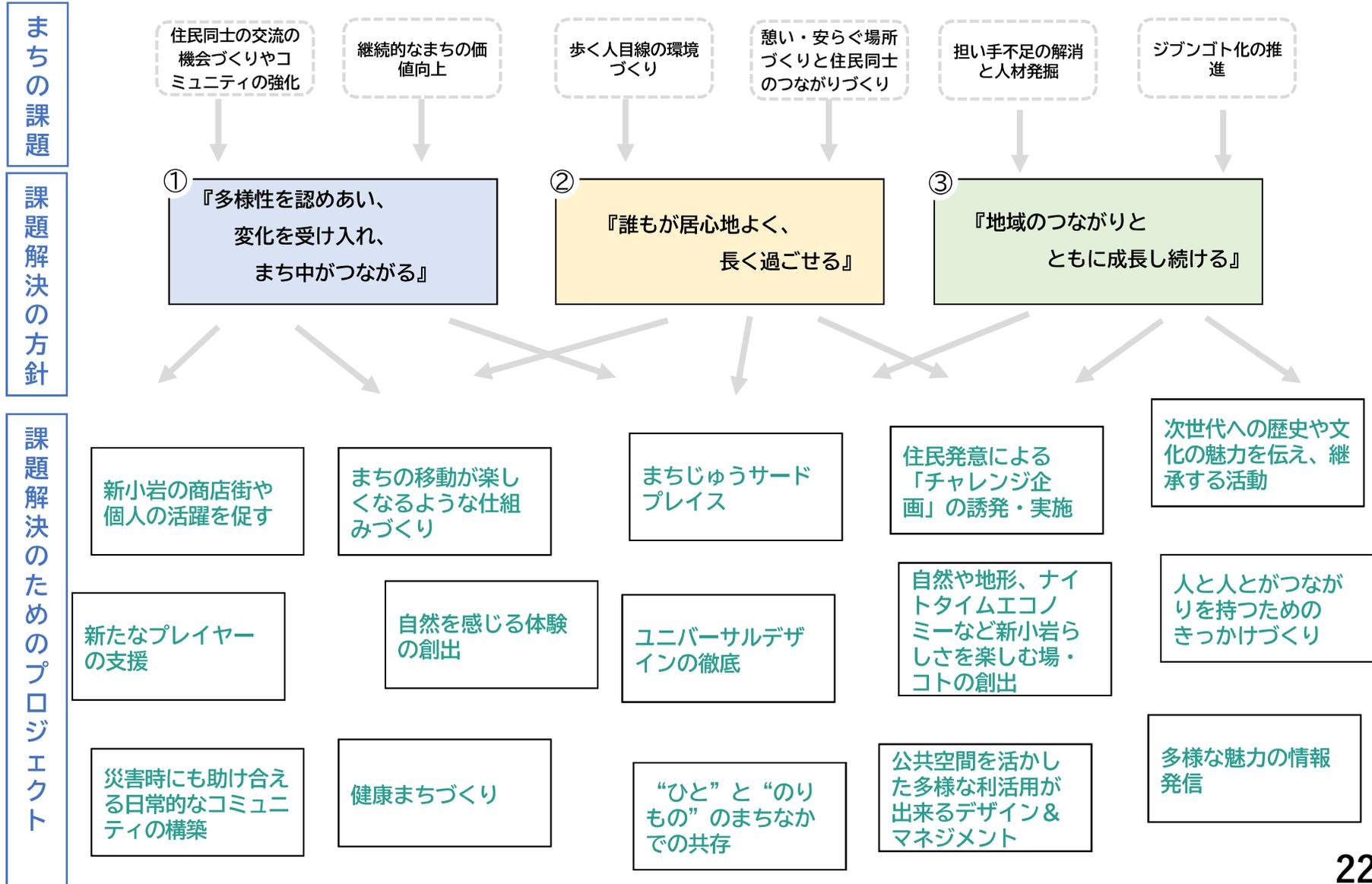
自分

感動 21

4. [内容説明] 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■ 目指す姿の検討

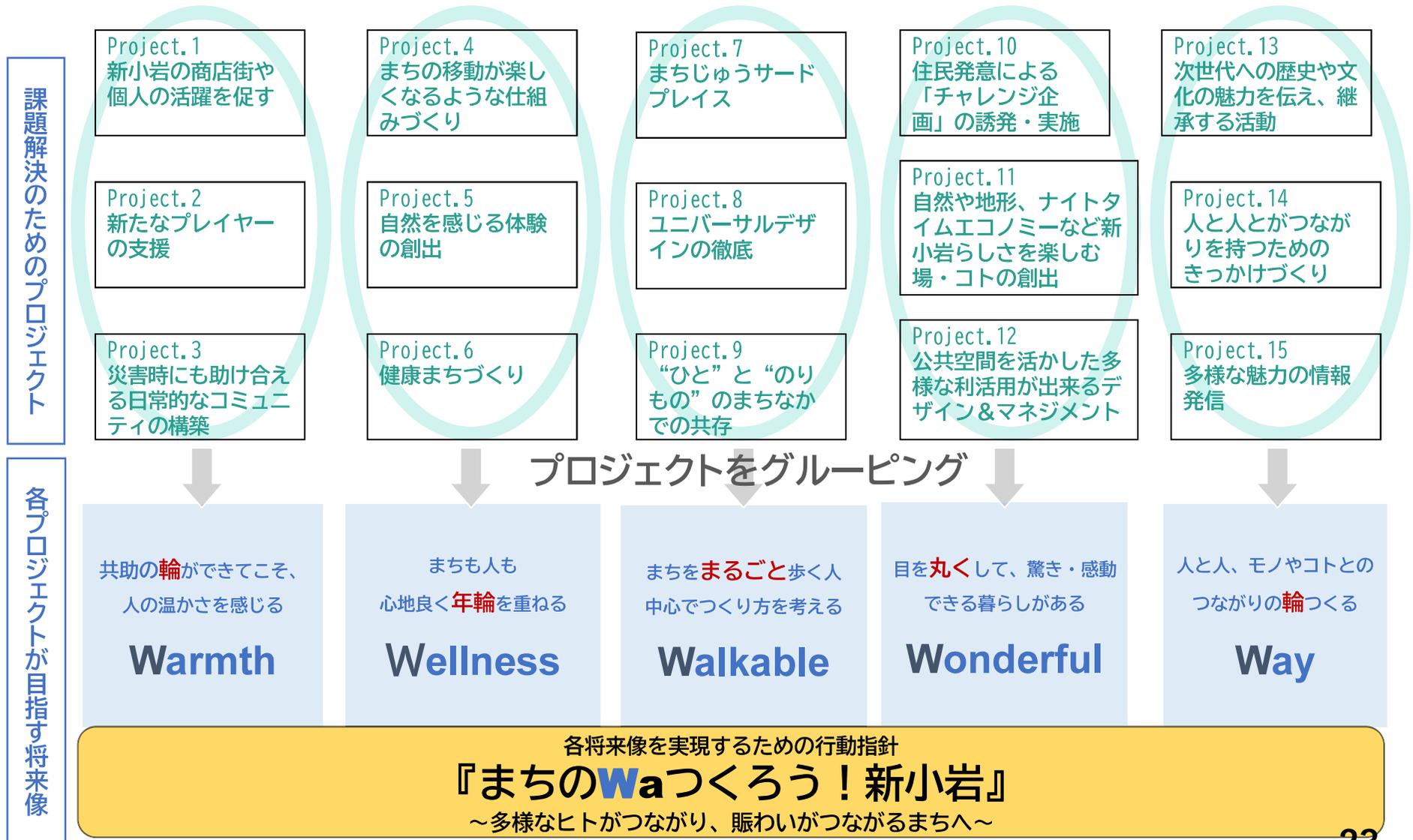
> 課題解決のためのプロジェクト



4. [内容説明] 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■ 目指す姿の検討

> 目指す将来像



4. [内容説明] 未来ビジョン骨子案（コアメンバー会議案）について

■ 目指す姿の検討

> 各プロジェクトの方針

テーマ

1 Warmth

- Project.1 新小岩の商店街や個人の活躍を促す
- Project.2 新たなプレイヤーの支援
- Project.3 災害時にも助け合える日常的なコミュニティの構築

新小岩に残る“下町人情＝人の温かさ”を核としたまちづくり、そして人づくりを行います。新小岩の資源である商店街を中心に新たな交流の機会を創出し、世代を超えて人と人が結びつくことで、地元愛や絆を育みます。まちを想う人の輪が広がることによって、個性的で人情味のあるまちの形成を促します。

テーマ

2 Wellness

- Project.4 まちの移動が楽しくなるような仕組みづくり
- Project.5 自然を感じる体験の創出
- Project.6 健康まちづくり

新小岩で暮らす人や働く人、訪れる人が心身ともにいつでも健やかでいられる環境を整えます。地域コミュニティや団体、企業、自治体が協働することで、子どもから大人まですべての人が喜びを共有することができるまちを目指します。

テーマ

3 Walkable

- Project.7 まちじゅうサードプレイス
- Project.8 ユニバーサルデザインの徹底
- Project.9 “ひと”と“のりもの”のまちなかでの共存

新小岩は駅を中心として商業機能が集積し、その周りを住宅地や河川などの自然資源が取り囲む構造をしており、また、エリア内では複数の公共施設が立地し、コンパクトな都市構造を形成している一方、ゾーンによってはアクセスが不便な場所があります。ゾーンごとの特色に応じながら主要な施設へのアクセスも確保しつつ、思わず歩き回りたくなる“歩行者中心”のまちを目指します。Walkableなまちは他の4Wの基盤ともなります。

テーマ

4 Wonderful

- Project.10 住民発意による「チャレンジ企画」の誘発・実施
- Project.11 自然や地形、ナイトタイムエコノミーなど新小岩らしさを楽しむ場・コトの創出
- Project.12 公共空間を活かした多様な利活用が出来るデザイン&マネジメント

住民ひとりひとりのチャレンジは、まちの風景を鮮やかに彩ります。「まちで気軽にチャレンジできる」という状態が日常に根付き、新しい出会いや体験が驚きと感動を誘発する循環システムをつくります。

テーマ

5 Way

- Project.13 次世代への歴史や文化の魅力を伝え、継承する活動
- Project.14 人と人がつながりを持つためのきっかけづくり
- Project.15 多様な魅力の情報発信

地域文化や歴史を持つ新小岩において、地域住民が自らの力で目指す未来を手にするためには、自分に合ったまちとの関わり方で楽しむことが大切です。そのために、望む未来に向けた一歩を踏み出す人を後押しするしくみやネットワークを整えます。

5. 当会議の名称・規約の決定について

- 設立に向けた準備会からコアメンバーにて4回の会議を重ね、以下の名称を提示いたします。

皆様の賛同をもって正式な名称とさせていただきます。

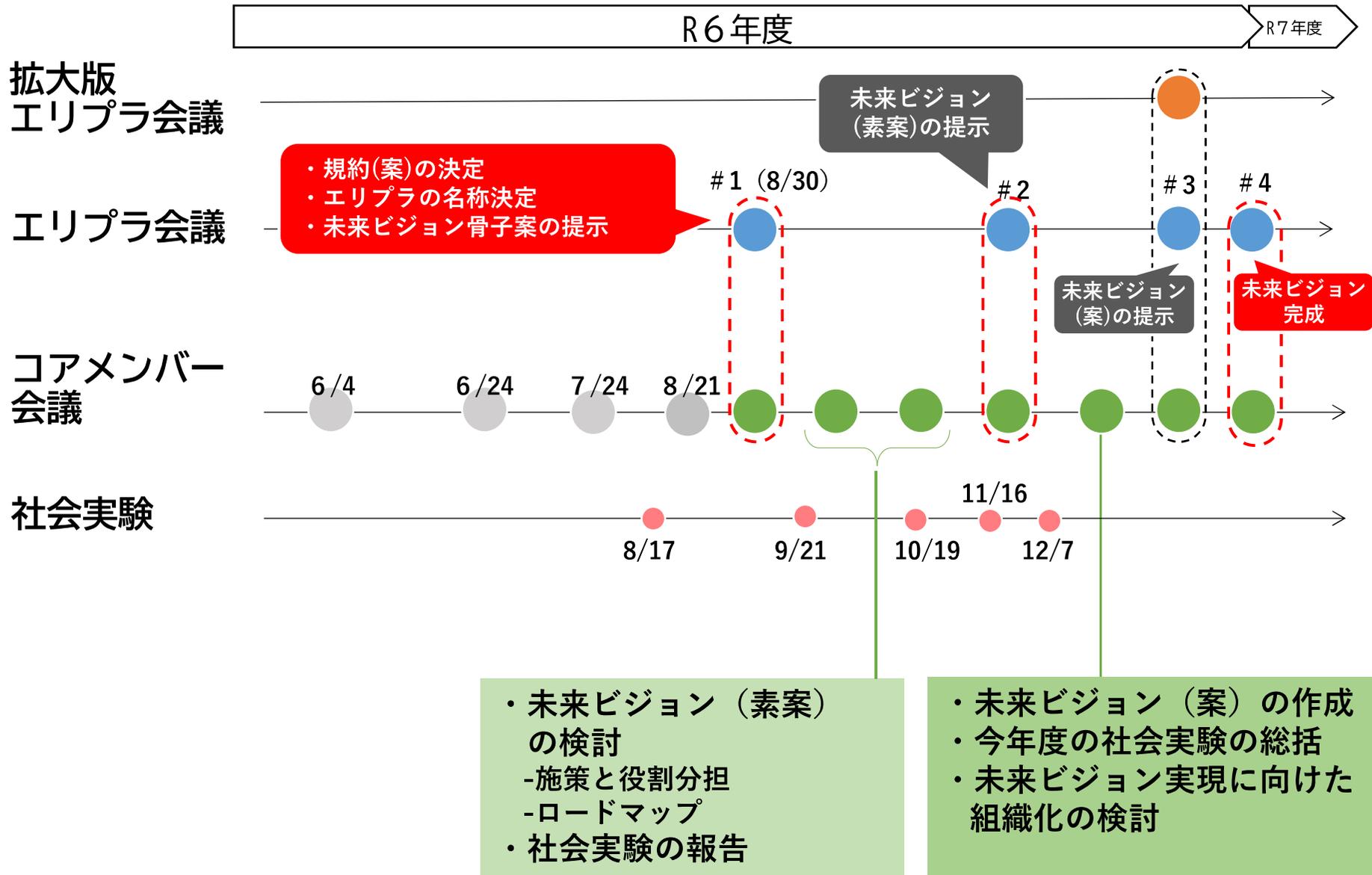
「地域力向上しんこいWa」

名称のコンセプト

- ・ 何を目的とした会議であるか、誰もが分かりやすく、馴染みやすいフレーズ
- ・ 未来ビジョンの将来像「まちの**Wa**つくろう！新小岩」と合わせる
- ・ しんこい**Wa**を倒置させることで、「新小岩」という地名を印象づける

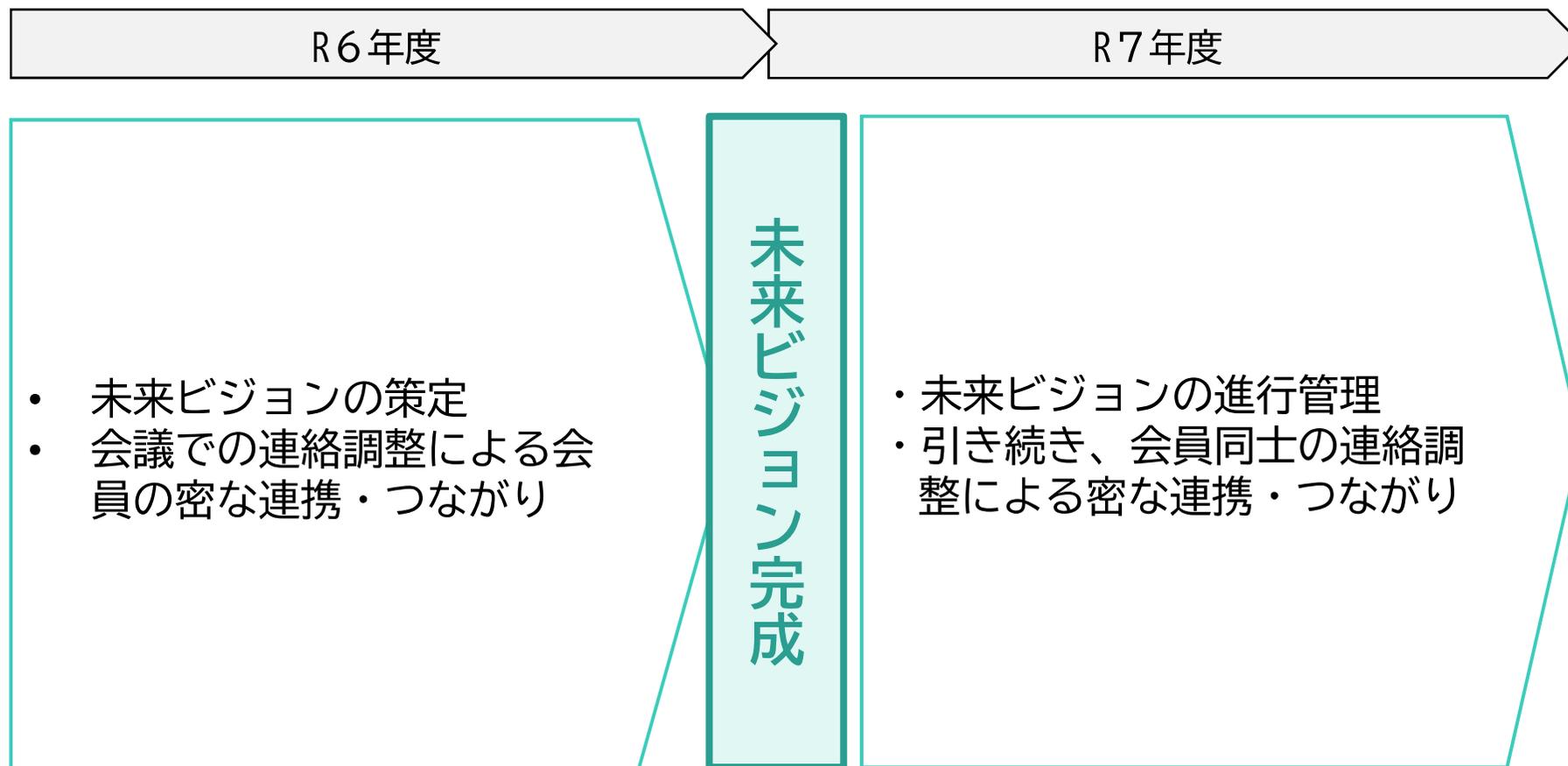
- 同時に、議題1でご説明した規約についても承認を諮ります

6. 今後のスケジュール



6. 今後のスケジュール

■令和7年度以降のエリプラについて



※エリアプラットフォームの会議体とは別に、地域貢献に特化したエリアマネジメント法人を設立していくことを目標としております。

→会議体をそのままの法人化するものではありません。